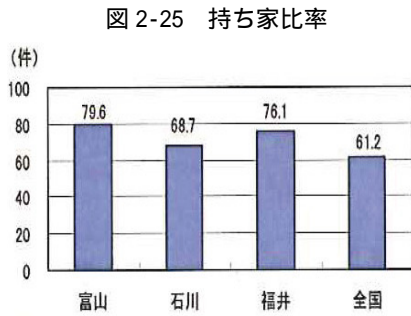


### (3) 指標等から見た北陸

#### 住環境

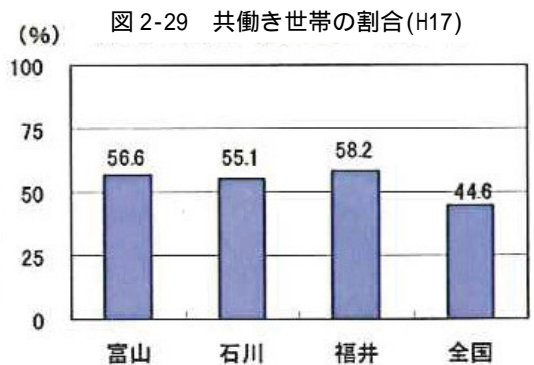
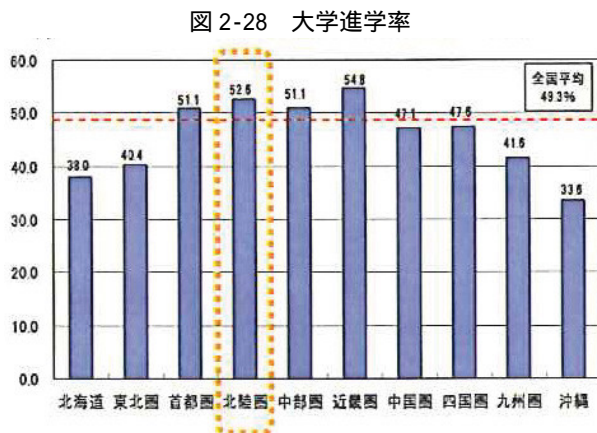
- ・持ち家比率が高く、富山県は 79.6% (全国 1 位)、福井県は 76.1%、石川県は 68.7%である。(図 2-25)
- ・人口あたりの都市公園面積が広く、犯罪発生件数も少ないなど、住みやすい地域であると言える。(図 2-26・2-27)



出所：「北陸圏の現状」北陸地方整備局

#### 進学・雇用

- ・大学進学率が高く、近畿圏に続いて全国 2 位である。(図 2-28)
- ・女性の社会進出が進んでおり、共働き世帯が多い。(図 2-29)



出所：「北陸圏の現状」北陸地方整備局

#### 産業

- ・全国と北陸圏を比較すると、製造業の比率が高く、サービス産業の比率が低い
- ・農林水産業は各県ともに 1%前後である。

図 2-30 県内総生産の業種別構成比



## 立地

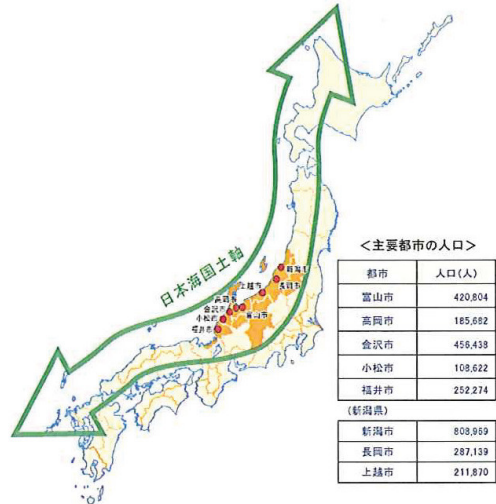
- ・東京、名古屋、大阪から 300km 以内に位置しており、三大都市圏からのアクセスがよい。( 図 2-31 )
- ・人口 10 万人以上の都市が連なり、日本海国土軸の中核を形成している。( 図 2-32 )
- ・東アジアとの位置関係をみると、北陸は日本海側のゲートウェイとして位置づけられる。( 図 2-33 )

図 2-31 三大都市圏からの距離



出所：「北陸圏の現状」北陸地方整備局

図 2-32 日本海国土軸上の位置



出所：「北陸圏の現状」北陸地方整備局

図 2-33 北陸と東アジアの関係



出所：「北陸圏の現状」北陸地方整備局

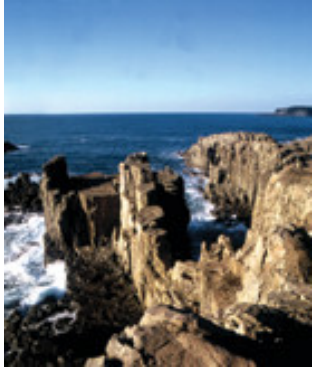
### 「北陸らしさ」を整理する視点

- ・くらしやすさ、居住環境のよさが北陸の共通点である。
- ・進学率が高く、女性の社会進出が進んでおり、人材が豊かである。
- ・製造業の比率が高く、ものづくり産業が根付いている。
- ・三大都市圏との近接性、都市の連続性、東アジアとのアクセスがよいなど、立地条件が恵まれている。

(4) 北陸らしさの再整理

項目		「北陸らしさ」を整理する視点
自然環境から見た北陸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳と深海が近接する変化に富んだ豊かな自然が、景勝地を形成している。【らしさ1】</li> <li>・豊かな湾の存在と海流がぶつかる位置にあることから、豊かな漁場を形成しており、食文化の基礎となっている。【らしさ5】</li> <li>・水資源と植生の豊かさが、水田や豊かな里山を形成する礎となっている。【らしさ1, 4】</li> </ul>
歴史的背景から見た北陸	「北陸」の成立(古代~平安時代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古来より越国として北陸道を背骨にし、一体的な地域として認識されていた。【らしさ3, 4】</li> <li>・大伴家持が越中国府に着任し、多くの和歌を詠み「万葉集」編纂へとつながった。【らしさ7】</li> <li>・立山信仰、白山信仰が興隆し、山岳信仰文化、宗教拠点としての寺社が整備された。【らしさ3, 7】</li> <li>・加賀温泉、和倉温泉が開湯し、1300年近い温泉地としての歴史をスタートさせた。【らしさ2】</li> <li>・大陸からの玄関口として、能登から若狭が文化交流拠点として機能した。【らしさ3】</li> <li>・天皇の御食料を納める国として若狭が位置づけられ、海産物の豊かさが古くから認知されていた。【らしさ5】</li> </ul>
	浄土真宗の広まりと戦乱(鎌倉時代~安土桃山時代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世には浄土真宗が盛んとなり、加賀国が一向宗の支配下におかれるなど、宗教勢力が強まった。【らしさ3, 7】</li> <li>・浄土系仏教が根強く息づいているとともに、宗教とともに井波、八尾、大野などの町が発展し、文化の継承地として息づいている。【らしさ3, 6】</li> <li>・七尾では畠山文化が開花し、長谷川等伯を輩出している。【らしさ7】</li> </ul>
	加賀百万石・北前船(江戸時代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀百万石文化の開花により、各種工芸、加賀料理が確立。輪島、山中、若狭等では漆器工芸が盛んになるなど、工芸文化が隆盛した。【らしさ6】</li> <li>・北前船により港町が発展し、町人の財力が強まった。【らしさ3, 7】</li> <li>・参勤交代の制度より、街道、宿場町が発達し、文化人も北陸に立ち寄ることが増えた。【らしさ3, 7】</li> </ul>
	廃藩置県と産業の近代化(明治・大正)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北前船や売薬などの資本を活かし、近代には、重化学工業や繊維工業を中心に、特色あるものづくりが北陸で勃興した。【らしさ8】</li> <li>・加賀百万石文化や、経済的に発展した町の文化を背景に、文学、哲学、美術の面で多くの文化人が生まれ育った。【らしさ7】</li> </ul>
	戦後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の高度経済成長期において産業集積や大規模拠点開発などが北陸においても行われたが、いわゆる太平洋ベルト地帯のような広大で急激な開発は進まず、豊かな住環境、原風景を今に留めている。【共通】</li> </ul>
指標等から見た北陸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・くらしやすさ、居住環境のよさが北陸の共通点である。【らしさ9】</li> <li>・進学率が高く女性の社会進出が進んでおり、人材が豊かである。【らしさ9】</li> <li>・製造業の比率が高く、ものづくり産業が根付いている。【らしさ8】</li> <li>・三大都市圏との近接性、都市の連続性、東アジアとのアクセスがよいなど、立地条件が恵まれている。</li> </ul>

<b>「北陸らしさ」の再整理</b> 観光交流化活発化に資する北陸らしさ	
<b>【共通】</b> <b>日本の真ん中に残された原風景</b>	
らしさ1 山岳と深海が近接する変化に富んだ豊かな自然	
らしさ2 有名温泉地から秘湯まで、多様な温泉が集積	
らしさ3 歴史的に形成された趣のある都市、町が近接して立地（美しい暮らし）	
らしさ4 豊かな生活文化が息づく農山漁村、里山が点在（生活文化）	
らしさ5 日本海の新鮮な海の幸を楽しむことができる食文化	
らしさ6 魅力ある伝統工芸の集積と現代への継承	
らしさ7 文学、美術、哲学などを育む土壌（心の原風景）	
らしさ8 特色あるものづくり産業の立地	
らしさ9 居住環境と人材の豊かさによる暮らしやすさ	



## 2-2 「北陸らしさ」を備えた地域資源の活用実態の現状

### (1) 地域資源の活用実態

- ・地域資源を活かした着地型観光、観光まちづくり、グリーンツーリズム等が活発化している。
- ・観光協会が取り組む例に加え、NPOやまちづくり会社など観光まちづくりの取組みも多い。
- ・都市・まちの資源活用、農村・里山の活用が多い。

「北陸らしさ」の再整理	地域資源の活用実態
1 山岳と深海が近接する変化に富んだ豊かな自然	立山の自然を深く知りたいニーズに応える(立山町観光協会) ボランティアイドとの交流を通じた生活文化体験(NPO 加賀白山ようござった) 美しい海岸線を別の角度から見る(NPO 三国湊魅力づくりプロジェクト)
2 有名温泉地から秘湯まで、多様な温泉が集積	宴会型温泉地から地域滞在型観光地への転換(KAGA・旅まちネット) 温泉地周辺の観光地を周遊する二次交通の運行((株)まちづくり加賀) 和倉温泉からミニ定期観光バスを運行(和倉温泉観光協会) 温泉の魅力を再発見する仕掛けづくり(あわら湯けむり創生塾)
3 歴史的に形成された趣のある都市、町が近接して立地	富山のまちの魅力を提供する取組み(NPO 富山観光創造会議) 北前船の歴史と文化を活かしたまちの魅力向上(岩瀬まちづくり(株)) 市民がまちを舞台に博覧会を開催(かなざわ・まち博開催委員会) 金沢芸妓のほんもの芸に触れる(ひがし、にし、主計町料亭組合) 金沢のまちなかをボランティアイドと歩く(金沢観光ボランティアイドの会・まいどさん) 大聖寺流し舟(NPO 歴町センター大聖寺) まちの住民が語り手となり七尾の町の魅力を紹介(一本杉商店街) 能登の住民が能登の魅力をガイドする(能登の旨美フェスタ実行委員会) 湊町観光で地域経済の活性化(NPO 三国湊魅力づくりプロジェクト)
4 豊かな生活文化が息づく農山漁村、里山が点在	田舎暮らしに興味のあるUIJターン希望者を惹きつける(グリーンツーリズムとやま) 世界遺産での生活文化を体験(みんなで農作業の日 in 五箇山実行委員会) 文化や自然、人とふれあう体験参加(城端町観光協会) 農業体験、自然学校や農家民泊を実施(春蘭の里) 農業体験、自然学校や農家民泊を実施(奥越前まんまるサイト) 都市と農村の交流を目的とした活動(農業組合法人ファームハウス・コムタ) 今立型エコ・グリーンツーリズム(ロハス越前) 農業・漁業を組み合わせた体験プログラム(NPO はあとふる美浜ネットワーク) 民宿が提供する自然を遊ぶアクティビティ((有)湖上館) 学校の体験学習受け入れと地域団体の連携(若狭三方五湖観光協会)
5 日本海の新鮮な海の幸を楽しむことができる食文化	『食都』四季を彩る 氷見三昧(氷見市観光協会) 能登井による能登の食の魅力発信(奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会) 石川の冬の味覚と食文化を体験する(フードピア金沢開催委員会) 越中とやま食の王国(富山県農林水産部農産食品課)
6 魅力ある伝統工芸の集積と現代への継承	輪島塗を気軽に見学・体験し楽しむ(輪島工房長屋・まちづくり輪島) 宴会型温泉地から地域滞在型観光地への転換【再掲】 今立型エコ・グリーンツーリズム【再掲】
7 文学、美術、哲学などを育む土壌	金沢発のライフスタイルを発信するファッションメッセ(金沢ファッションウィーク実行委員会) まちなかを舞台にしたプロジェクト型展覧会(金沢 21 世紀美術館)
8 特色あるものづくり産業の立地	企業見学など産業観光情報を発信(経産省中部経済産業局)
9 居住環境と人材の豊かさによる暮らしやすさ	お試し移住体験で田舎暮らしの楽しさを満喫(NPO 水辺のまち新湊) 農業生産法人が提供する農業研修と農業体験学習((有)かみなか農楽) 農山産漁村住民との共同作業による暮らし体験(福井県農林水産振興課)

らしさ1  
自然

## 立山の自然を深く知りたいニーズに応える

- 立山町観光協会 -

- ・立山の豊かな自然を活かし散策ルートの提案やボランティアガイドによる観光地のガイドが行われている。

実施地域：富山県立山町

実施主体：立山町観光協会

### 取組内容

#### トレッキングや登山

- ・「立山町観光協会」のホームページにおいて、トレッキングや登山のコースを提案。
- ・「黒部渓谷ナチュラリスト研究会」や「立山りんどう会」が自然解説や観光地の案内を行なっている。



美女平で研修



立山黒部アルペンルート

#### 立山黒部アルペンルート

- ・立山駅～扇沢駅の地域がアルペンルートと呼ばれており、4月～5月下旬まで雪の大谷など広大な自然を体感することができる。
- ・「山麓ボランティアガイドうれの会」によるアルペンルートや室堂・弥陀ヶ原、立山山麓や有峰の観光案内が行われている。

出所：富山県観光イベントガイド、立山町観光協会、ホームページ

らしさ1  
自然

## ボランティアガイドとの交流を通じた生活文化体験

- NPO 加賀白山ようござった -

- ・ガイドブックに載っていないが、地域住民だけが知っている白山麓の魅力を、住民ボランティアガイドが紹介するツアーが人気を呼んでいる。
- ・白山麓地域の、自然・歴史・文化・伝統・民族・産業などを観光客へ紹介するために、地域資源の積極的な掘り起こしも行っている。

実施地域：石川県白山麓地域

実施主体：NPO 加賀白山ようござった

### 取組内容

#### 企画ツアーのガイド

- ・加賀百万石ウォークなど各種企画ツアーのガイドを行っている。

実施例：加賀百万石ウォーク（野生動物ウォッチングと白山の自然体験、白山の水芭蕉スペシャルなど）

#### セミオーダーツアーの作成、ガイド

- ・既存ツアーをもとに、利用者の興味をもとに案内地を追加するなどひとりひとりの顧客のためのツアーを作成し、ガイドを行っている。



**らしさ1**  
**自然**

**美しい海岸線を別の角度から見る**

- NPO 三国湊魅力づくり PJ -

- ・北前船で栄えた情緒溢れる三国湊の街並み、迫力ある日本海の名勝東尋坊や雄島を肌で感じることでできる特別航路を設定し、ボランティアガイド付きのクルージングを実施している。

実施地域：福井県坂井市三国町      実施主体：NPO 三国湊魅力づくり PJ、カガミ商事三国営業所

**取組内容**

**クルージングの実施**

- ・三国のまちを起点とする東尋坊行きの片道クルーズを運行することで、観光客は東尋坊とあわせ、北前船で栄えた三国の町の魅力を味わうことができる。
- ・東尋坊から三国への復路は、路線バスを利用する。この回遊ルートの設定により、滞在時間は格段に長くなっている。
- ・クルーズにはボランティアガイドが同船しており、海岸線の見どころや三国の歴史などについてガイドを行っている。



出所：NPO 法人三国湊魅力づくり PJ ホームページ、東尋坊観光遊覧船（株）ホームページ

**らしさ2**  
**温泉**

**宴会型温泉地から地域滞在型観光地への転換**

- 加賀市観光情報センターKAGA・旅まちネット -

- ・年間約 200 万人を集客する加賀温泉郷は、従来の宴会型温泉地としての観光地から、質の高い地域素材を活かした地域滞在型へ進化する取組みを行っている。
- ・加賀市観光情報センターKAGA・旅まちネットでは、個人旅行の案内やウェブサイト運営による情報発信のほか、着地型観光商品（ミニツアー）の提供により温泉地への個人客誘致を推進している。

実施地域：石川県加賀市全域      実施主体：加賀市観光情報センターKAGA・旅まちネット

**取組内容**

**昼と夜のミニツアー**

- ・加賀温泉郷は、温泉地としての魅力のほかに、藩政時代から続く工芸文化（九谷焼・山中漆器など）や重要伝統的建造物群保存地区に指定される橋立などの地域資源が点在する
- ・地域の観光ガイドボランティア団体を中心に、夜と昼にわたるミニツアーを企画し、インターネットによる情報発信を中心にプロモーションを行っている。



**昼のツアー（加賀百万石ウォーク）**

**夜のツアー（夜の風景散歩）**

1.大聖寺流し舟と城下町散策（春）	4/6～6/29の日	1.城下町の夜桜散歩	4/4～4/8 毎日
2.ろくろの里めぐりと手打ち蕎麦	5/24・5/31・6/7	2.なつかしのホテルの里探訪	6/7～6/23の毎日
3.加賀海岸国定公園・伝説の道をトレッキング	6/14・6/21・6/28	3.雪・氷のふしぎ実験と花火で夕涼み	8/1～8/19の毎週火曜・金曜

らしさ2  
温泉

温泉地周辺の観光地を周遊する二次交通の運行

- (株)まちづくり加賀 -

- ・北陸三県における一大宿泊拠点として知られる加賀温泉郷において、従来の宴会型温泉地としての観光地から地域滞在型への転換をめざす取り組みのひとつとして地域周遊バスの運行を行っている。
- ・温泉地周辺に広く点在する観光施設や街を結ぶことで、地域全体の魅力を高め、温泉宿泊客の滞在時間向上に成功している。
- ・二次交通と着地型プログラムの提供とが結びつくことで、個人旅行の受け入れ態勢の充実が図られている。

実施地域：石川県加賀市全域      実施主体：(株)まちづくり加賀

取組内容

二次交通システム「キャンパス」を核とした地域情報発信

- ・温泉周辺の観光地周遊の二次交通として、加賀温泉駅を中心に三つの温泉と周辺観光地を8の字を描いて定期的に回るコースでバスを運行(キャンバス運営は(株)まちづくり加賀)
- ・加賀市観光情報センターKAGA 旅・まちネットが、個人客への案内とウェブサイトによる情報発信を展開。キャンバスによる地域の観光地周遊を行う旅行者が増加している。



バスの中の劇場

- ・バスの車両内にエンターテイナーが乗車し、ギターやアコーディオンなどの演奏や歌を披露したり、紙芝居やお宝展示などによって、利用客を楽しませている。

らしさ2  
温泉

和倉温泉からのミニ定期観光バス運行

- 和倉温泉観光協会 -

- ・和倉温泉から、のとじま水族館や能登食祭市場、七尾のまちなかを周遊する定期観光バスが毎日運行している。温泉周辺の観光地を周遊することができ、和倉温泉に宿泊する温泉客の地域滞在に寄与している。

実施地域：和倉温泉、七尾市中心市街地、能登島

実施主体：和倉温泉観光協会

取組内容

ミニ定期観光バス「華の香号」の運行

- ・前日 17 時までにて予約をすれば、和倉温泉観光会館から和倉温泉周辺の観光地を周遊する観光バスを利用できる。
- ・和倉温泉観光会館を朝出発し、のとじま水族館、能登島ガラス工房・ガラス美術館や七尾のまちなかの見所を周り、昼過ぎに和倉温泉駅・和倉温泉旅館観光会館に戻ってくる。
- ・能登食祭市場にて昼食をとる。
- ・料金は大人 1500 円、こども(中学生以下) 500 円。

出所：和倉温泉観光協会/和倉温泉旅館協同組合HP



▲のとじま臨海公園  
(のとじま水族館)



## らしさ2 温泉

### 温泉の魅力を再発見する仕掛けづくり

- あわら湯けむり創生塾 -

- ・「湯の街・あわらに活気を戻したい」「温泉地として、どうあるべきか」などに応えるさまざまな取組みを通して、商業や農業をはじめ他産業への波及・振興をめざす。さまざまな取組みを通じて、旅行者が温泉の魅力を満喫することができる仕掛けが提供されている。

実施地域：福井県あわら温泉

実施主体：あわら湯けむり創生塾

#### 取組内容

##### あわら温泉賑わい創生

- ・あわら温泉各旅館とセントピアあわらのどこでも3回入浴可能なあわら温泉「湯めぐり手形」を販売している。
- ・来館者をおもてなす「女将ギャラリー」等の演出を充実。
- ・あわら市の地域通貨やマイレージシステムを導入し、地域商業施設との業務提携を行っている。



##### 「おしえる座あ」創生

- ・あわら湯のまち駅舎横に情報収集・発信基地として「おしえる座あ」を設置し、地元住民と観光客との交流の場を提供している。
- ・「おしえる座あ」では、地域の人々、各種団体等と情報の共有ネットワーク化や発型情報、着型情報の提供を行っている。
- ・レンタルサイクル事業による新しい地域散策を提案している。



おしえる座あ

## らしさ3 趣ある都市

### 富山のまちの魅力を提供する取組み

- NPO 富山観光創造会議 -

- ・年間9万余人の観光客が訪れる観光スポットである売薬の老舗「池田屋安兵衛商店」の集客の仕掛けやノウハウを、まちの活性化につなげる活動を展開。まちの活性化には、地元住民だけでなく、訪れる「旅人」の視点も重要と考え、訪れる人が楽しく体験・滞在できる「もてなし界限」づくりを進めている。

実施地域：富山市内中心部

実施主体：NPO 富山観光創造会議

##### まちの駅

- ・「まちの駅」とは地域情報を提供する機能を備えた施設を指す。トイレ、休憩場所も提供するほか、観光情報などに詳しい案内人を常駐させ、観光客や買い物客の問い合わせに応じている。参加しているのは、地域の商店など。



##### 街づくりサロン

- ・街づくりや観光に携わる人をゲストスピーカーとして招き、お話しを聞き、学び会。会場は、まちなかの「まちの駅ビル」。毎回、20名程度が参加し、30回まで開催されている。

